

保護者各位

伊那市長 白鳥 孝

日本脳炎（１期・２期）ワクチン定期接種のお知らせ （特例措置①）

平成 17 年 5 月 30 日の積極的勧奨の差し控えにより、接種の機会を逃した方への定期接種です。

1 接種対象者 平成 7 年 4 月 2 日～平成 19 年 4 月 1 日生まれて 20 歳未満の方

2 実施期間 20 歳の誕生日の前日まで（20 歳になると実費になります）

3 接種場所 別紙「予防接種協力医療機関」日本脳炎に○印のある医療機関
※医療機関に予約をしてから接種をしてください。

4 持ち物 予防接種予診票（伊那市発行のもの）・母子健康手帳

5 費用 無料（公費負担）

6 接種回数・間隔

- ・ 母子健康手帳に記載されている接種済みの回数で、残りの回数が決まります。合計 4 回になるように、必要な回数を接種します。（下記の表を参考にしてください）
- ・ 2 期は、9 歳以上にならないと接種することができません。
- ・ 接種を全く受けていない場合は、《 3 回目》1 期追加と《 4 回目》2 期の間を 6 日以上おいて接種できます。

	《 1 回目》 1 期初回 1 回目	間隔	《 2 回目》 1 期初回 2 回目	間隔	《 3 回目》 1 期追加	間隔	《 4 回目》 2 期 (9 歳以上)
(ア)	接種済		①	6 日以上	②	6 日以上	③
(イ)	接種済		接種済		①	6 日以上	②
(ウ)	接種済		接種済		接種済		①
(エ)	①	6 日以上 < 標準 > 6～28 日	②	6 月以上 < 標準 > おおむね 1 年	③	6 日以上	④

>> 裏面をご覧ください

7 日本脳炎とは

日本脳炎ウイルスの感染で起こります。飼育されているブタの体内で増えたウイルスが、蚊（コガタアカイエカ）によって媒介され感染します。潜伏期は7～10日で、高熱、頭痛、嘔吐、意識障害、けいれん等の症状を示すウイルス性の急性脳炎です。ヒトからヒトへの感染はありません。

感染した人のうち、100～1,000 人に1人が脳炎を発症すると考えられています。脳炎にかかった場合の致死率は約20～40%ですが、治った後に神経の後遺症を残す人が多くいます。

近年、西日本の高齢者を中心に発症していますが、若年者の発症も見られます。

8 予防接種の効果

第1期の初回2回、追加1回の合計3回の接種で基礎免疫がつき、第1期の抗体レベルを維持するために第2期を接種します。

日本脳炎の予防接種は4回することで必要な抗体が得られます。

9 接種上の注意

- ・ 1期（3回）の接種が済んでいない方は、伊那市役所健康推進課予防係へご相談ください。
- ・ 2期を接種済（他市町村等で接種、任意で接種）の方は、接種の必要はありません。データ管理のため、お手数ですが伊那市役所健康推進課予防係までご連絡ください。
- ・ 13歳以上の方は、保護者の署名や委任状兼同意書の記入が必要な場合があります。下記の表の注意事項をよく読んでご記入ください。

予診票の種類	注意事項
保護者が同伴する場合または 受ける方が既婚の場合	接種を受ける方が13歳未満は原則、保護者（親権を行う父母、養親、及び後見人）の同伴が必要です。やむを得ない理由で保護者が同伴できない場合は、接種を受ける方の健康状態を普段より熟知する親族等で適切な方が同伴することは差し支えありません。 この場合は裏面の委任状を必ず記入してください。
保護者が同伴しない場合 (13歳以上)	接種を受ける方が13歳以上16歳未満の場合は、保護者の同意があれば同伴の必要はありません。その場合は、予診票の表面と裏面の保護者自署欄に必ず署名をしてください。 接種を受ける方が16歳以上の場合は、保護者の同伴がなくても接種を受けることができます。

10 ワクチンの副反応

発熱、接種部位の腫れ、じんましんが接種後1日目に多くみられました。重篤症例の発生頻度は、0.0007%です。
(令和6年1月第100回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会資料より)

R7.4.1

<お問合せ先> 伊那市役所健康推進課予防係 電話 0265-78-4111 内線 2332